

**新型コロナ感染症対策とパソコン教室**

代表理事 久保 裕

本年初めより新型コロナ感染症が世界的に蔓延して現在11月から第3波と、さらに感染者の最多感染数を更新しています。このような厳しい環境のなかで、予防対策を講じながらCnet事務所のパソコン教室は講座を開催してまいりました。

国からの自粛要請もあり、3月から6月の4か月間をパソコン教室は休講しました。第1波のピークが過ぎ7月から、教室の3密空間を避ける対策など事前準備をして、講座を再開しました。

市後援の「シニアのためのパソコン入門講座」と教育委員会後援の「市民のためのプログラミング講座」の2つの講座もA、Bコースの2つに分けて教室内が過密にならないように受講生の数を制限して開講し、また土曜日の講座も今年から開講しました。

Cnet会員数は年度はじめより10名増加して130人となっています。感染症に負けないで、パソコン教室に通われる元気なシニアが集っています。

また国の持続化給付金もNPO法人まで拡大されて支給することができました。感染症対策に取り組みながら講座を開き、Zoomによるオンライン役員会や同好会を継続して開催してまいりました。

今後ともリモートワーク機能と事務局業務の改善に取り組んでまいります。

昨年まで市役所でのパソコン・スマホ無料相談会を開催してまいりましたが、来年度は市の高齢福祉課から市内各交流センターでのタブレットの講習会の指導要請がありました。ますます元気なCnetシニアのパワーを発揮してまいりたいと思います。

## ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 顧問・理事・監事 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**「ウイズ オンライン」礼賛**

内田 芳勲

ここ10数年間の情報端末やインターネットの普及は目覚ましく、世の中は大きな変容を遂げた。収束しないコロナ禍で閉塞感の漂うこの時期でも、ICTによる現代社会の進歩は図り知れないし、この恩恵に浴せるのは誠にありがたいことだ。例えばZoomによるCnetの技術交流会、俳句の会、気の置けない仲間との談笑やオン飲み会、週末家族数拠点を結ぶ団欒、面会制限中の病院や介護施設との面会等々。殊に高齢者は出不精でこもりがちだが、自宅で用を足せ、仲間と情報交換を図れて誠に便利だ。コロナの収束後も「ウイズ オンライン」は人が直接向き合う次善の策として不可欠だろう。

「何もかも オンラインでと年暮るる」 芳洲

**私の「(デジタルライフ)三種の神器」** 星川 雄

その時代を象徴するような代表的な家電製品は“三種の神器”と呼ばれて、人々の憧れの的になってきました。1950年代は「白黒テレビ」「洗濯機」「冷蔵庫」でしたが、今のデジタル時代の“三種の神器”は、「パソコン」「スマホ」「タブレット」ではないでしょうか？私も既にこの「デジタル時代の三種の神器」は手元に有って、無くてはならない物になって居ります。パソコンはデスクトップとノート、タブレットはiPadとAndroidといった具合に、複数台を操って居り、毎日6台の“三種の神器”の内、何台かには必ずスイッチを入れます。デジタル時代の「三種の神器」を楽しみつつ、世の中や人様のお役に立てることが、私のささやかな生きがいでもあります。

**リモート講座で感じたこと**

宮垣 久典

コロナ禍のため4か月間事務所でパソコン教室が開けなくなり、リモート会議ソフトZoomでプログラミング講座をやってみた。講座後いつもと違う疲れを感じた。一体なんなの？受講生と視線が合わない。相槌を打って貰えない。受講生のそばに寄れない。講師も受講生もビデオで看視されて居眠りも出来ない。音声の遅れや途切れで自然対話が出来ないなど。今まで当たり前だったことが出来ない歯がゆさが大きな原因のようである。人類の歴史はウイルスとの闘いと共存の繰り返しと言われてきたが、今こそ、リモート技術も活用しながら、命を守り、人間らしさを失わない社会をどうすれば再構築できるかを皆で考えなければならない試練の時である。

**市後援講座を担当して**

佐藤 紀子

日立市から後援をいただきました「シニアのためのパソコン入門講座」は、本来なら4月開講の予定が新型コロナウィルスの感染拡大で7月に延期され、更に、密を防ぐためにAコースBコースと2つに分けての開催となりました。この講座はCnetの会員以外の方が対象です。マウスの使い方から始めて、最終日にはWordで年賀状を作成します。慣れないパソコン操作に戸惑っている方から、「あ！できた」と嬉しそうな声が上がると、私も一緒に嬉しい気持ちになります。10分間の休憩時間が、おしゃべりに花が咲き、延びてしまうことも度々です。「学ぶことでともに笑顔になれる」、そんな時間が次へのステップに繋がると信じています。



**Zoom 活用について****宮原 養治**

パソコンを利用したテレビ電話は Skype など以前からあったが、コロナ禍の中、オンライン会議が必須となり容易に参加できる Zoom が至る所で利用されるようになった。Cnet でも役員会、技術交流会など多人数での集会には利用されている。また Zoom の画面共有機能は何かと便利で、デジタル写真同好会の月例会にはプロジェクターの代わりとして重宝している。またパソコン相談でも使えるよう PC 教室での講習会、自宅同士の接続テストを何度か実施した。また全国各地の友人達とオンライン同窓会、東京在住の子供達とパソコン・スマホ間で近況報告などにも活用している。音声だけの電話と違い、顔、表情を見ながらなのでお互い話しやすいのが良い。

**PC の使い方の変遷 一般→特殊 高松 良一**

私の現役(ハード設計)時代は、設計書のため Word、プレゼン資料のため PowerPoint を主に使っており、技術資料を後輩たちに残したという自負がありました。新しいバージョンもすぐ取り入れました。一方、現役時代から音楽を聴くことが趣味でしたので、音楽のデジタル化に伴い、その類の PC 周辺機器も買って楽しむようになりました。現役を離れてからは文書を作ることなどなくなり、音楽を聴くための投資の方が増えました。最近是有料ですが、高音質のオンデマンド・デジタル音楽配信が盛んになり、小型の音楽用 PC で Amazon Music HD という配信サービスを楽しんでおります。皆さんから見るととても特殊な使い方だと思います。

**コロナ禍で思うこと****小澤 正明**

年初より新型コロナウイルスが流行し、感染防止のため街中から人々の往来が途絶え、消費が冷え込み経済が停滞することとなった。その消費喚起を促すため国や地方自治体では、プレミアム付き宿泊券や食事券、買い物券を発行するなど様々なキャンペーンを打ち出してきた。その多くの申し込み方法が PC やスマホ、タブレットによる、いわゆる WEB を利用した方法である。また、リモートや在宅ワークなど世の中は急激にデジタル化が進みつつある。それらに対応した機器を持たない人、使えない人にはハードルが高く恩恵に与れない人が多くいるのではないのでしょうか。そのような人たちの受け皿的な存在となるのが Cnet ではないかと思う。

**コロナは有益？ 今、畑が大変ですよ！ 大内猛**

コロナ感染で終りそう今年、個人的には大変だとも言えない。その一つ太田さん主導 Zoom を習得できた。受講生とも交信を楽しんでいる。秋の交流会にカラオケと思い試みたが、これは音声タイムラグでうまくいってない。また定年時頂いた放置ギフトカード 20 万相当を期限切れと諦めていたが使える事が判明。コロナで価値も 1.3 倍に増加した。昨今のステイホームで引きこもり者がいるのではと思ひ、元同僚に「暇している者は俺の畑を手伝え」とメールしたら 3 女が集まりこれまたビックリ。早朝 6 時からキャンキャン声に畑周辺住民もビックリ。元キャンプ同好会会長として畑の真ん中にテーブル設置。今は畑より茶会が主流となった。コロナも悪くない。

**シニアの報酬は、相手の笑顔****山崎 勝敬**

定年退職後に縁あって会員になり 5 年半。その間、事務局や講師と、いろんな業務に従事してきましたが、最近 Cnet のモットーがようやく実感できるようになってきました。「シニアの報酬は、相手の笑顔」ですが、まさにその通りと感じています。例えば、講義中の下手なジョークに対する冷たい笑顔ではなく「先生わかった」と言ってにっこりされる笑顔が、実にうれしく感じるようになってきました。みなさん本当に「イイ」笑顔しています。たぶん私もみなさんの「笑顔」のお裾分けをもらって「イイ」顔をしているのかなと。これからもそんな「嬉しい」笑顔がたくさんになるようさらに努力していきます。

**「オンライン縁」を考える****太田 秀夫**

今年は Cnet の中でも 4 月から役員会や趣味の集まりを Zoom で開催しており、会員がオンラインで交流する機会が増えました。人間社会には「縁」が存在し、地縁、血縁、職縁などは身近に感じるところです。オンライン縁とはこれらのオンライン化に留まらず、地理的距離感を超えた新たな出会い、交流で生まれる縁だと思います。インターネットを介して、いつでもどこでも誰とでも可能なオンライン会議は、Cnet の中では既に一定の経験とノウハウが蓄積していますので、例えば Zoom 同好会を新設して会員を募り、定期的に井戸端会議とかオン飲みを実施するのも一計かと思ひます。因みにポストコロナとなれば「オフラインと共存」するべきでしょう。



4月27日の役員会 写真はパソコンのZoom画面



8月24日の技術交流会 Zoom画面

### モバイルアプリの活用 大和田かおる

コロナウイルス感染症の拡大によって私たちの行動は大きく変わりました。その中でもオンラインサービスはこれまで以上に身近なサービスとなり、生活の中で利用が促進されるものも多くなりました。また、モバイル（スマホアプリ）がその中心的な役割を担ってきており、新型コロナウイルスの流行といった出来事がシニアにスマートフォンを普及させるきっかけになりつつあります。私自身、モバイルアプリの利便性を実感し活用する頻度が増えています。現在、毎日活用しているのが「dヘルスケア」という健康アプリです。目標の歩数を歩くと「dポイント」がたまるお得なアプリです。無料のアプリで運動する習慣もポイントも手に入りますよ。

### コロナ禍でのささやかな楽しみ 金谷 俊治

ニュースといえばコロナまたコロナ、高齢で基礎疾患のある私はどうしてもパソコン、読書のひきこもりの生活になります。そのような中でささやかな楽しみを見出しています。食材の買出しや病院通いで車を運転するとき、前を走る車の車番が必然的に目に入ります。アッ！1118 平清盛、西行法師が生まれた年だ！エッ 1616 徳川家康、シェイクスピア、セルバンテスが亡くなった年だ！ オッ！3952 帝国海軍の暗号電文「ニイタカヤマノボレ」で有名な台湾の玉山の標高だ！こんな具合に何かに関連のある数字を見つけてはニンマリしています。歴史上の人物の生年月日、死亡日、山の標高、河川の長さ等を無意識の内に覚えていくのも楽しいものです。

## ★★★★ パソコン教室から ★★★★★

### ディスカバー Cnet 小川 正信

この一年間新たな発見・体験をさせて頂いた。春から夏そして秋へと、季節が進む中で現役時では体験出来なかった事柄事案を。急速に普及した新技術でのオンライン会議などは、驚愕に値した。また思いや考え方一つとってみても自分と他の方とは多種多様であるのかを充分知り、自分の小粒さを再認識した次第である。まあ人間だからしょうがないかと思ひ今後の糧として行きたい。先ずは自分の為に更には周りの方々と結びつきを多少とも深めて、そろりそろりとスローライフを楽しんで行きたい。

### 市民プログラミング講座を実施して 菊池 誠

今年度は、市民プログラミング講座を実施できたことが、大きな成果でした。講座をスムーズに実施できたのは、水曜プログラミング講座の皆さんが、毎回サポートして下さいのおかげです。有難うございました。受講者は、80歳から小学校2年まで、年齢差73歳でしたが、シニアは子供の柔軟な思考に大いに刺激され、子供は大人に認められて自信をつけるなど、意義ある異世代間交流となりました。これからも、水曜プログラミングの皆さんと共に、プログラミングを分かり易く伝えていきたいと思ひます。

### パソコンを学んで・・・ 西野淑子

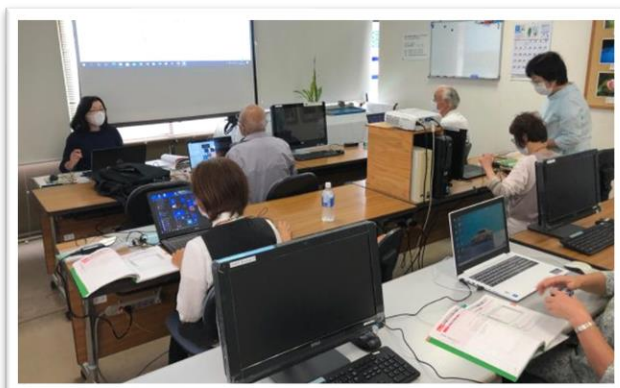
Windows10を習い始めて、おおよそ1年半になります。その間、コロナウイルスの蔓延で中断もしましたが、続けてこられたのは、自分の中にあるパソコンへの少しの興味と、先生と、仲間に恵まれたことかなと思ひます。

その入り口であるWordを終え、今はExcelの初歩に奮闘しています。Word、Excelをもう少し学び、それを自分の日常生活の中にどのように生かしていけるかが、私の今後の課題です。

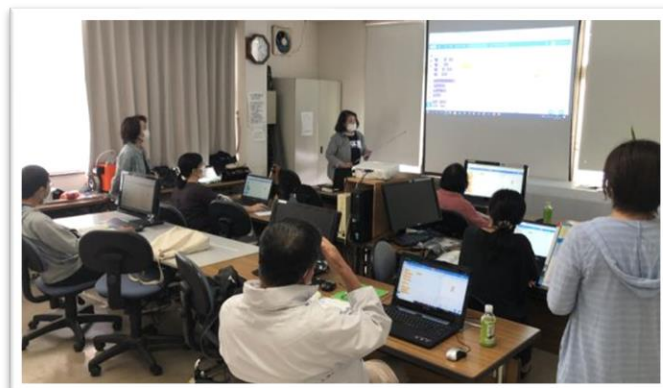
### パソコンが出来る楽しさ 成田幸子

Wordから今はExcelを受講している。受講開始してからもう少しで2年になる。都度必要な資料などを受取りもう一度見る癖をつけ始めると自然と思ひ出す。テキストに無い資料の説明もあり生徒には有難い。また私自身忘れる事が多いので予習復習の大切さもこの年になって再々認識した次第。今はパソコン講座を受講するのが楽しく待ち遠しい。

年齢と共に記憶が定まらず落ち込みもあるが、前向きな気持ちでいる。昨年からデジカメ同好会に入会し、色々な写真を直に体験出来これもまた楽しい。



日上市後援による  
シニアのためのパソコン入門講座



日上市教育委員会後援による  
市民のためのプログラミング講座

**スマホは楽しいが活用には四苦八苦 加納 陽子**  
 格安スマホ購入。場違いかもと参加したスマホ入門 & 活用講座は、格安？そんなの関係ないという。講座は SNS に続き、Amazon Prime に加入しビデオ無料鑑賞や翌日配送の物品購入を楽しんでいる。スマホ決済 PayPay 導入。シニアには快感です。アプリも数々入れた。スマホと PC の連動(共有)で、パソコン側での操作も教わった。例えば、スマホ写真を PC で加工。LINE も PC から返信するといった便利なことも。教室のメリットは、お互いがテスト送信して、その場で成功を確認できることである。

### パソコンに挑戦中！

須田 和子

私は今パソコンに挑戦中です。時々キーに触れていたものの簡単な文章が打てる程度でした。それが、令和2年度は町内の役回りで会計担当の番が回ってきたのです。思いおこせば数十年前会社に勤めていた頃、会議に必要な資料を作成すべく急遽パソコン教室のドアをたたき先生の指導のもと「あ、い、う」の打ち方、文字の拡大や縮小、誤字の直し方など必死で覚え会議資料を作成したものです。その後パソコンから離れ幾年月、今は、その私が会計報告書を作るために奮闘中です。

### 一人でスイスイ出来たら

及川 宣代

私とパソコンの繋がりには兄です。少し離れた所に住んでいるので月に何度か手紙やハガキが届きます。手紙には俳句やパソコンで描いたカット等がいつもあります。普段手紙に書かれている文字が、とても凛々しく私には憧れです。私もそんな風に来たらパソコン教室に通うことにしました。しかし思っていたよりも難しく、なかなか自分のものになりません。週1回と時々補習を行い、早く皆さんに追いつきたいと思っています。これからもご指導よろしくお願い致します。

### プログラミング講座受講ビギナー 會澤 友子

春に入会したもののコロナ急拡大のため7月からの受講となり、人数も縮小されて家族的な落ち着いた中で学んでいます。講座は幼児や小学生対象のビケットというアプリで遊びながらプログラミング体験。ところがなかなか思ったように動いてくれず、なんでー？と悪戦苦闘しています。Zoom アプリを使ってのリモート体験では世の中のテレワークのイメージを少しばかり理解。家事、介護、孫育てと忙しい中の隙間時間。講座は息抜きの自分時間のひとつ。1日ひとつでも学べれば良しです。

## ★★★★ 俳句の会とデジタル写真同好会の会員からの便り

★★★★

### リモート句会の実施と参加

村山 典男

3密防止のため、Cnet 俳句会では今年3月よりリモートでの句会を実施しています。メンバーは自宅パソコンから Zoom アプリを介して参加します。当初は戸惑いもありましたが、Cnet のご指導もあり運用にも慣れました。為せばなるです。投句、選句の背景など、発言者の表情を見ながら違和感なく意見交換でき、今後も継続して活用すべきと考えます。先日新聞に、俳句は「表現の工夫、言葉の研鑽、人の作品への共感」が健康によいとありました。パソコンと俳句、皆さまもいかがでしょうか…。

### 私のパワースポット

福地 幸子

深田久弥の百名山を昨年の秋に登り終えた事は、私にとってラッキーだった。今年の南アルプスはコロナで入山禁止、北アルプスの上高地周辺で群発地震が発生し出かける気になれず、コロナで外出自粛となり家に籠る日々。恒例の夏山もお預けとなり体力は落ち体重は増え気持ちも塞ぐ。高い山には登れない。秋になって低山から歩き始めた。水を得た魚の様に「やっぱり、山が好き」と思う。清々しい空気溪流の音や澄んだ水、小鳥の鳴き声や可愛い花に癒される。至福の時間。私のパワースポットだ。

### コロナ禍からの新しい日常

宇都木 勲

今年10月よりデジタル写真同好会に入会させて頂きました。毎月のオンライン同好会に楽しく参加しています。オンラインは何処に居ても PC があれば参加できて本当に便利です。WEB での作品アップは毎月写真展を開催している気分です。小林先生、宮原さんに感謝です。コロナ禍の自粛生活も10か月に及び、旅行に行きたい、友達と食事して話したい等、早く元の生活に戻りたいと願うことしきりです。が、コロナ禍で発見した便利な新しい様式もあります。新しい日常として取り入れたいと思います。



Cnet 秋の撮影会 小木津山自然公園  
 写真は宮原養治侶さん撮影

